

熊本市動植物園

本園は、市内中心部からほど近い、市民のオアシス・江津湖のほとりにあり、動物園、植物園、遊園地が一緒になった広々とした自然いっぱいの施設です。

動物園には、孫悟空のモデルといわれる金色の長い毛を持つ金絲猴(キンシコウ)、ゾウ、キリン、ホッキョクグマなど約130種1000頭の動物を見ることができます。「動物ふれあい広場タッチ愛ランド」ではモルモットやヒツジなどと触れ合えます。

また、現在再編整備を行っており、3月26日にはチンパンジーエリアがオープンします。チンパンジー達の群れでの行動を間近で観察することができるようになります。



海を越えカバのモモコがやってきた。

熊本市動植物園 北川 勇夫

本園では、将来、江津湖という水辺の環境を活かしカバの群れ飼育を目指しており、その始まりとして、昨年5月20日に愛媛県立とべ動物園から、一頭のメスのカバ、モモコが来園することになりました。

ふるさと、両親と離れ、新しい環境で一人(頭)暮らしをはじめたモモコが、火の国熊本で、たくましく生きていく姿を、移動の様子から、現在に至るまでお話しします。

- ① 受け入れの準備
- ② 輸送用の檻への馴らし
- ③ 母ミミとの別れ
- ④ 高速、船を乗り継ぎ、
いざ熊本へ!
- ⑤ 姿が見えない一般公開
- ⑥ 皆に祝福されての誕生会
- ⑦ 走るカバ
- ⑧ 今後のモモコ

